

# 令和2年度2月補正予算（国補正予算分）契約事務の取扱い

## 静岡県交通基盤部建設支援局 建設業課



「工事中」がみらいをつくる！どぼくってオモシロイ！

静岡県交通基盤部



## 入札前の工事の対応

### ◆ 総合評価落札方式の対象の見直し

・予定価格3,000万円以上の工事についても、総合評価によらず、価格競争によることとする。

なお、総合評価落札方式を適用することもできる。

### ◆ 指名競争入札の対象案件の拡大

・年度内に発注手続き（入札公告、指名通知）を行う入札に限り、予定価格1,000万円以上の工事についても、指名競争入札によることができるものとする。

### ◆ 発注ランク運用の適用除外

・土木一式、建築一式、電気及び管工事について、発注等級区分の適用除外とし、下位ランクの業者が、施工実績を勘案し上位ランクの工事に参加させることができるものとする。

☆今回の補正予算に関する工事は「競争入札に参加する者に必要な資格(昭和39年4月1日告示第220号)」の「6 等級区分の適用除外」のうち「(6)特別な理由により、急施を要する工事とする。」に該当

# 令和2年度2月補正予算（国補正予算分）契約事務の取扱い

## ◆ 工事着手日選択型工事の対象拡大（令和3年度も交通基盤部で継続試行）

- ・専任の技術者を求めない3,500万円未満の工事も対象工事に追加する。
- ・工期にかかわらず開札日から90日以内の着手日選択期間を設ける。

○静岡県工事着手日選択型工事実施要領の運用

区 分	令和2年度2月補正分	令和3年度当初分
第2条関係 対象工事	3,500万円未満も対象とする	同 左（交通基盤部試行）
第3条関係 工事着手 期限日	開札の日から90日	同 左（交通基盤部試行）
工事着手日 選択期間	上記工事着手日選択期間を加算した期間が、加算前の完成予定年度を超える場合等は、必要最低限の範囲で工事着手日選択期間を短縮することができる。 またゼロ債務負担工事においては、工期にかかわらず開札の日から90日以内の間で期限日を定められる。	同 左（交通基盤部試行）

# 令和2年度2月補正予算（国補正予算分）契約事務の取扱い

## ◆ 発注見通しの公表

### ○工事

区 分	令和2年度2月補正分	令和3年度当初分
対 象	当該年度に発注が見込まれる予定価格250万円超の工事	
	仮箇所付けの活用による早期公表	同 左
発表時期	2月15日に公表し、その後毎月末に公表内容の見直しを実施	当初予算成立後、3月末までに公表し、その後毎月末に公表内容の見直しを実施
概算工事規模	5区分により表示	同 左

### ○建設関連業務委託

区 分	令和2年度2月補正分	令和3年度当初分
対 象	予定価格100万円超の建設関連業務委託	同 左
発表時期	2月15日に公表し、その後毎月末に公表内容の見直しを実施	当初予算成立後、3月末までに公表し、その後毎月末に公表内容の見直しを実施
概算業務規模	4区分により表示	同 左



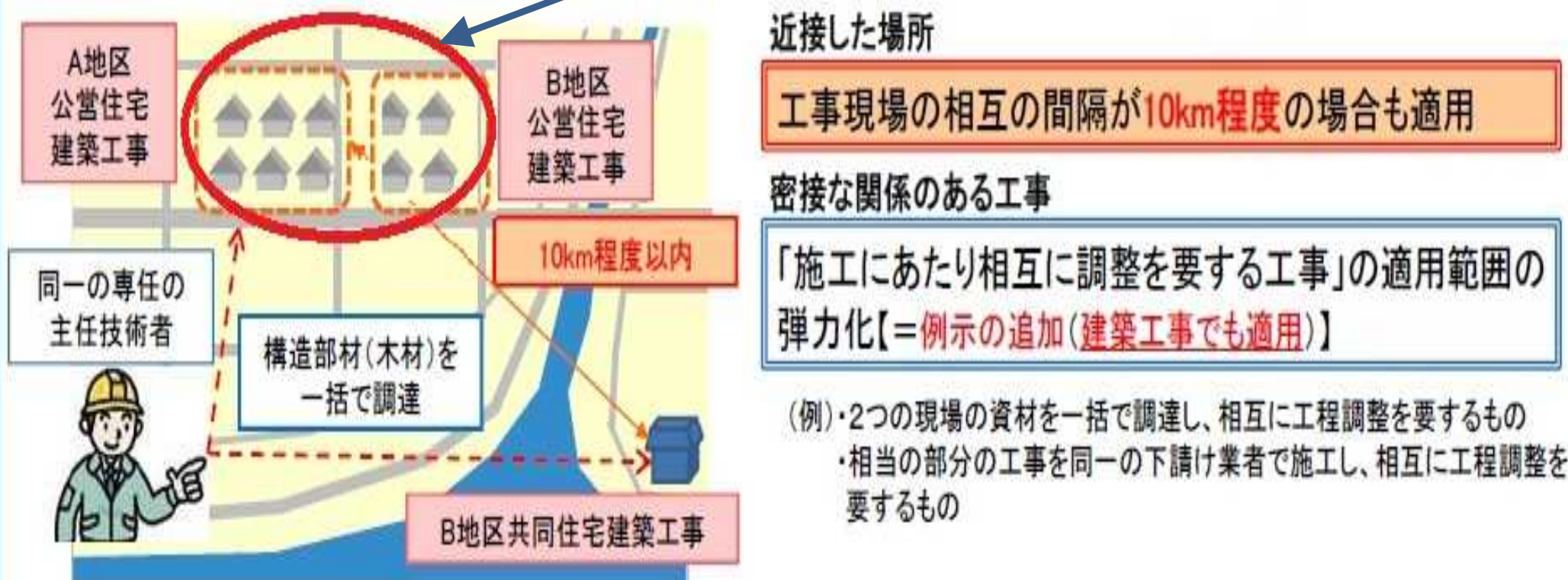
## 契約後の工事等の対応

### ◆ 専任の技術者の兼務工事の取扱い（令和3年度も継続）

- ・同一又は近接した場所における密接な関係のある工事については、複数の工事を1つの工事とみなす。

一つの工事とみなす（例）

イメージ図



※適用にあたっては、従来通り、安全や品質の確保等、各工事の適正な施工について、発注者が適切に判断することが必要

## ◆ 事務所工事検査対象の拡大

・本庁工事検査課対象案件のうち、当初契約金額6,000万円以上1億円未満の工事については、事務所検査監による検査対象とする。

<現状： 令和3年1月4日以降契約のものから>

○本庁検査

工事の種類	検査対象
土木工事	6,000万円以上の工事（ICT施工による河床掘削工並びに舗装維持修繕工は除く）及び低入札価格調査対象工事
農林土木工事	4,000万円以上及び低入札価格調査対象工事
建築・設備工事	6,000万円以上及び低入札価格調査対象工事



<補正予算>

○本庁検査

工事の種類	検査対象
土木工事	1億円以上の工事（ICT施工による河床掘削工並びに舗装維持修繕工は除く）及び低入札価格調査対象工事